

こんにちは!

横浜市議員

こしいしかつ子



-働く女性・母親の目線で地域の課題を市政に届けます- **です!!** [レポートNo.10]

発行元：奥石且子政務調査事務所 横浜市栄区公田町514 TEL045-894-9956 FAX045-894-9957 <http://www.koshihishikatsuko.jp/>

セーフコミュニティって、なに？

セーフコミュニティとは「事故やけがは偶然のものではなく、原因を知ることによって予防できる」という考え方をもとに、地域ぐるみで生活の安全と健康の質を高めようとする「まちづくりの活動」です。WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターが認めた都市や町に与えられる国際認証です。

横浜市栄区は、この認証の取得を目指して、平成22年4月、正式な取り組み開始宣言を行ないました。国内では京都府亀岡市、青森県十和田市、神奈川県厚木市が認証を取得しています。

セーフコミュニティ認証のための6指針

- 1) 横断的推進母体の組織化（地域・医療・警察・行政等）
- 2) 全ての年齢・性・環境への継続的対策の実施
- 3) ハイリスク群に焦点をあてた対策実施
- 4) 傷害データの収集・分析の仕組み
- 5) 効果を測定する評価基準
- 6) 国内外のネットワークへの参加

セーフコミュニティって、何かするの？

セーフコミュニティと言っても、みなさんに何か特別な活動を始めていただくわけではありません。これまでご尽力いただいてきた安全や安心・健康のための活動はそのままに、危険や病気などのいろいろな課題の「予防」に役立てるという考え方を加えていただきます。

セーフコミュニティって、何がいの？

セーフコミュニティによる国際認証を得るためには、決められた基準を満たさなければならないため、栄区のみなさんの活動を世界基準に照らして確認していくことになります。確認には1～2年かかります。現在およそ1年目を終え、つい先日、中間監査が行われたところです。

★もっとも大事なことは、認証取得のための活動をきっかけに、みなさまの安全と安心・健康への取り組みをいっそう深めていただけるだろうということです。地域の様々な活動や団体の結びつきを強め、あるいは広げていくことになるでしょう。みなさんのご協力をお願いします。

交通安全PRイベントで
タッチーとSC協働センター監査官



[こしいしかつ子プロフィール] 昭和43年(1968)横浜市栄区上郷町生まれの2児の母●横浜市立犬山小学校(現上郷小)上郷中・県立上郷高校(現横浜栄)・川村学園女子短期大学英文科卒業●古美術から現代アートまでを対象としたイベント企画に従事●その後前横浜市議員つのだ宏子事務所に勤務●参議院比例区支部長秘書として子育てに市民活動にと奮闘
[現在] 2011年4月横浜市議員(栄区選出)初当選●自民党横浜市連青年局次長●さかえ福祉まごころの会理事長●国際芸術家センター元理事●環境健康学トランスレーター●アフリカエイズ孤児を支援する女性の会会長●学校給食と子どもの健康を考える会会員●三味線音楽普及の会会員 他



横浜市でも放射線量の測定が始まりました。

測定結果は横浜市のホームページでご覧いただけます。

[トップページ](#) > [東日本大震災関連情報](#) > [放射線関連情報](#)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kikikanri/h2303jishin/#hosya>

横浜市でも「学童・生徒等が受ける線量の目安」として、文部科学省が提示する基準値「年間1ミリシーベルト以下」を目標としています。

測定開始は大きな前進ですが、その対応にも情報量にもまだまだ物足りなさを感じます。今後は、複数箇所でこまめに計測を行ない、風向きや天候によってかわるリスクとともに、線量別に個人でできる「対応策」をわかりやすく提示してほしいと思います。

過去の公害問題のような失敗を繰り返すことなく「予防原則」がしっかり機能していくように、微力ながら力をつくしたいと思います。

不安の中でお過ごしのみなさまには、本当に申し訳ない気持ちですが、小さくても出来ることをそれぞれの方に行っていただきながら、手を取りあって現状を乗り越えて行きたいと存じます。

放射線医学研究所のホームページに、平常時、緊急時、復旧時によって被曝基準値が変更する理由など、一般の市民にもわかりやすく記載しています。

ぜひご覧になってみてください。

●放射線医学総合研究所

<http://www.nirs.go.jp/index.shtml>

環境健康学トランスレーターの仲間たちによれば、私たちが自分でできる予防策は「花粉症対策」に準じるとのこと。

●外出時はマスクをし、こまめにうがいをする。

●帰宅時は玄関に入る前に上着の埃を叩き、できるだけ室内に放射線物質を持ち込まない。

私もガイガーカウンターを用意してみましたが、やはり個人向けの簡易な機器では詳細なデータは得られないようです。

詳しくは横浜市環境創造局のサイト・空間線量測定結果のページをご参照ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/saigai/housya.html>

ことしいしかつ子の市政報告①

担当委員会が決まりました!

常任委員会「市民・文化観光・消防委員会」

特別委員会「安全安心都市特別委員会」



横浜市発「総合的な災害対策の考え方」がまとまりました

4つの分野について

全庁的な対応を

迅速に進めていきます

●被災者・地支援対策

●防災対策

●経済対策

●市民生活対策

Katsuko's voice

5月補正予算案には震災対策として16事業64億円が提案されました。液状化など市内の震災被害に対して国の制度が不十分な点の補完、耐震工事に対する補助、放射能測定機器の整備など、緊急課題は早急な実施を求めています。一方で状況に応じた長期的かつ継続的な検証と対応も求めています。

みなさまのお声をお聞かせください

ことしいしかつ子政務調査事務所

栄区公田町514 ☎045-894-9956 ☎045-894-9957

✉ katsuko.koshiishi@gmail.com

ホームページ <http://www.koshiishikatsuko.jp/>

担当委員会が決まりました!

5月2日に初登庁、市職員の方に議員バッジをつけていただきました。

栄区の12,276名もの方々からお預かりした一票一票にお応えするとともに、すべての方の幸いを願い、職責を全うしたいと存じます。

まずは地域。市民活動、区政に関する事項を扱う「市民局」、危機管理・市民の安全を守る「消防局」、身近な文化から世界に発信する創造都市づくりまで所轄する「文化観光局」。以上の常任委員会を担当します。

タウンニュース（平成23年6月2日号）